

文部科学省「英語指導力開発ワークショップ」事業

http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/fl/WS05/index.html

第1フェーズ「教師たちへのエンパワーメント」を実施

期間: 8月22日(月)～27日(土) 場所: 関西大学高槻キャンパス「高岳館」

プレゼンテーションや英語による授業、デジタル教材の作成など

英語教師の能力開発を目指した実践的な研修プログラム

関西大学の大学院外国語教育学研究科(研究科長: 齋藤 栄二)では、8月22日(月)から27日(土)の6日間にわたり、文部科学省に採択された「英語指導力開発ワークショップ」事業の「第1フェーズ: 教師たちへのエンパワーメント」を関西大学高槻キャンパス「高岳館」で実施いたします。

「英語指導力開発ワークショップ」事業は、近畿地方をはじめとする西日本の各教育委員会が推薦する英語教師を対象に開催します。

今回の研修プログラムでは、参加者が3つのグループに分かれて、授業でのプレゼンテーションやディスカッション、教室英語のノウハウ習得、デジタル教材作成などの能力開発に向けて研修プログラムに取り組みます。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「第1フェーズ: 教師たちへのエンパワーメント」では、通訳養成学校で教員養成やカリキュラムデザインに従事したカナダ人講師やケンブリッジ大学で英語検定試験評価委員を務めるイギリス人講師などが講師となります。

研修プログラムは、

「プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発」(授業での効果的なプレゼンテーションやディスカッション活動の実践的能力の習得。英語による講義)

「教室英語能力開発」(英語で授業ができるような教室英語ノウハウの習得。英語による講義)

「デジタル教材作成能力開発」(英語の「デジタル自己学習教材」の作成、生徒への配布やインターネット配信のためのノウハウの習得)

などとなっており、習得したノウハウを活用する模擬授業の展開など、より実践的な研修スタイルとなっています。また、講師とのディスカッションのほか、合宿形式の利点を生かして課外時間には参加教師による英語教育の開発に向けた議論も活発におこなわれる予定です。

経済・社会等のグローバル化により「英語が使える日本人」の育成が重要な課題となるなか、英語教育現場では、従来のような英文法や語彙などの知識に加え、コミュニケーションを目的とした英語を運用できる英語教師が求められてきています。

文部科学省「英語指導力開発ワークショップ」事業は、地域における英語教育の中心的な役割を果たす人材を育成するために今年度から新たに実施される事業です。

関西大学は、文部科学省の「英語指導力開発ワークショップ」事業に応募。14大学（海外1校を含む）の中から採択された3大学（関西大学、東海大学、宮城教育大学）のひとつとなりました。

関西大学「英語指導力開発ワークショップ」事業 / 第1フェーズ「教師たちへのエンパワーメント」について

1. 実施概要

実施期間：2005年8月22日（月）～27日（土）

取材可能日：2005年8月24日（水）

場 所：関西大学 高槻キャンパス「セミナーハウス・高岳館」

所在地 / 〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1

連絡先 / 06-6368-1121（大代表）

2. 研修プログラムの時間割（3つに分かれたグループが各研修を時間ごとにローテーション）

	1時間目 (10:00～11:30)	2時間目 (13:00～14:30)	3時間目 (15:00～16:30)	4時間目 (16:30～)
8月22日(月)	オリエンテーション	プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		
8月23日(火)		プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		各グループでの 課題時間
8月24日(水) (取材可能日)		プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		
8月25日(木)		プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		
8月26日(金)		プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		
8月27日(土)		プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発 教室英語能力開発 デジタル教材作成開発		

3. 研修プログラムの主な内容

プレゼンテーション・ディスカッション指導能力開発

将来自らの授業で、効果的なプレゼンテーションやディスカッション活動が実践できるようになることを目標に、様々なプレゼンテーションやディスカッションのタスクを計画、実施、評価する方法を学ぶ。授業では計画した学習活動を用いた模擬授業を行い、お互いフィードバックをすることを通じて実践的な能力を身に付けてもらう。

講師：Chris Campbell(クリス・キャンベル)

カナダのバンクーバー出身。エジンバラ大学で英語教育学(修士)を修めた。関西大学特任英語講師。14年前に来日し、以来、英語教育に従事している。日本で有数の通訳者養成学校であるサイマル・アカデミーやコングレ・インスティテュートで教員養成やカリキュラムデザインに従事した経歴を持つ。

教室英語能力開発

英語の授業を英語で行えるように、教室英語のノウハウを学ぶ。授業では、授業開始時、学習活動時、授業終了時などの実践的な場面で使える基礎的な教室英語表現を学ぶとともに、それを効果的に使う方法を、実際に英語で模擬授業を展開しながら検証する。

講師：Roger Palmer(ロジャー・パーマー)

英国ロンドンの出身。ロンドンで、外国人英語学習者指導法を修め、シラバス作成や教材作成を専門にしている。最近、高校生や大学生向けの教材作成にも取り組んでいる。また、ケンブリッジ大学の英語検定試験評価委員でもある。自らは、熱心な言語学習者でもあり、フランス語、ドイツ語、日本語などを勉強している。来日前には、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、香港などで英語教師として活躍

デジタル教材作成能力開発

デジタル音声教材の制作と配信がテーマ。最終的には、各参加者が「授業スタイル」と生徒の「学習到達度」にあった「デジタル自己学習教材」を作成し、生徒に配布またはインターネットを通して配信できるようになることを目標とする。

講師：住 政二郎

東京都出身。都立大学大学院で修士課程を修める(教育学)。現在は、夙川学院短期大学で非常勤講師を務め、関西大学大学院外国語教育学研究科博士課程後期課程に在籍する。デジタル教材開発と学習支援をテーマに、LMS(Learning Management System)を活用した単なる開発にとどまらない、授業と自己学習を有機的連携するメディアとしての教材開発に従事している。

講師とのフリー・ディスカッション

8月23日(2日目)は、Roger Palmer 先生と Chris Campbell 先生が高岳館に宿泊します。夜の自由時間に、二人のネイティブの講師と意見交換。ネイティブの講師が提供する理論や指導法について、昼間の授業時間では話し合えなかったことについてディスカッションをします。

関西大学の大学院外国語教育学研究科について

外国語教育に関わる高度専門職と研究者の養成を目的として設置された独立研究科で、この分野で博士号まで出せる研究・教育機関は、日本ではごく少数しかありません。現在、現職の教員、社会人など117名の多彩な人材が研究活動に取り組んでいます。また、昨年11月には、京都御池中学校とIT(情報技術)を活用した英語教材開発を共同で進める相互連携協定を締結。パソコンを使った英語学習を進めるなど、授業時間のほかにも英語を学べる実践的な環境づくりに取り組んでいます。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6337-7078

F A X 返信用紙
関西大学 広報課 宛て

F A X 番号: 06 - 6337 - 7078

文部科学省「英語指導力開発ワークショップ事業」
第1フェーズ「教師たちへのエンパワーメント」

実施期間：2005年8月22日(月)～27日(土)

取材可能日：2005年8月24日(水)

この日以外の取材をご希望の場合は、ご相談ください。

場 所：関西大学 高槻キャンパス「セミナーハウス・高岳館」



所在地 / 〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1

連絡先 / 06-6368-1121(大代表)

阪急京都線富田駅、JR 京都線(東海道本線)摂津富田駅下車、高槻市営バス約15分。

JR 京都線高槻駅下車、高槻市営バス約20分 バス停「関西大学」で下車。

取材する

取材しない

御社名		
部署名		
お名前		
ご連絡先	TEL	FAX
<備考欄> ご取材の希望日、ご要望などがございましたらご記入ください。		